

稲WCS用新品種「青系208号」の特性

～ 黄熟期全重・成熟期全重ともに多収な新品種を開発 ～

要約

黄熟期全重・成熟期全重が多収な「青系208号」を育成しました。「うしゆたか」に替わり稲WCS(稲発酵粗飼料)用の奨励品種に指定されました。

研究成果の概要

1. 背景・目的

本県では「中生の早」熟期の稲WCS用品種として「うしゆたか」が作付けされていますが、黄熟期全重がより多収な品種が望まれていました。そこで、黄熟期全重・成熟期全重が多収な稲WCS用品種を育成しました。

※稲WCSとは、稲の米粒が完熟する前(糊熟期～黄熟期)に、穂と茎葉を同時に刈り取り、サイレージ化した粗飼料のことで、主に乳用牛や肉用牛の飼料として利用されます。(農林水産省、稲発酵粗飼料の取り組みについて(H18)より引用)

2. 内容

出穂期・成熟期は「うしゆたか」より遅いものの、黄熟期に刈取る場合問題ない。

「うしゆたか」より全重がかなり多い。

表1-1 「青系208号」の主要特性

品種名	早晚性	出穂期	黄熟期	成熟期	稈長 (cm)	黄熟期 全重 (kg/a)	同左 標準比	成熟期 全重 (kg/a)	玄米 千粒重 (g)
青系208号	中生晩	8/7	9/10	9/22	94	156.9	125	215.4	31.2
うしゆたか	中生早	8/1	8/31	9/12	88	126.0	(100)	175.3	25.2
まっしぐら	中生早	8/3	-	9/19	81	-	-	190.1	22.3

(注) 平成26～令和2年、農林総研(黒石市)多肥区(N:1.0+0.4kg/a)の結果。

表1-2 「青系208号」の主要特性

品種名	いもち病抵抗性		耐倒 伏性	耐冷性
	葉い もち	穂い もち		
青系208号	不明	不明	強	極強
うしゆたか	やや強	不明	極強	中
まっしぐら	強	やや強	強	やや強

いもち病抵抗性は「不明」ですが、現在、県内に分布するいもち病菌のレースでは発病が認められていない。

表2 飼料成分分析値

品種名	乾物中(%)			
	粗外 パク質	可溶無 窒素物	粗 繊維	粗 灰分
青系208号	4.9	48.8	27.3	14.9
うしゆたか	5.3	43.7	27.9	18.0

(注) 平成30年畜産研究所による調査。

3. 活用等

県内全域での作付けが可能です。籾千粒重が重いので、播種量を一般うるち品種より2割増やす必要があります。また、穂発芽しやすいことから、催芽時の芽の伸ばし過ぎに注意が必要です。



草姿

関連情報

令和3年2月に県の飼料作物奨励品種に指定されました。一般栽培用の種子は令和4年度作付け分から供給される予定です。